令和6年度　　国語　科

教科名等

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
現代の国語	1	A　B　C　D　E　F	2	必履修	70　時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	精選　現代の国語(第一学習社)
使用教材等	『読解評論文キーワード』(筑摩書房) 『新版　意味から学ぶ頻出漢字3000』(第一学習社) 『新国語総合ガイド六訂版』(啓隆社) 『LT現代文1』(浜島書店)

科目の目標

学習目標	【知識及び技能】 本文に用いられている語彙・漢字の正しい使い方を身に付け、筆者がどのような認識や思考を述べようとしているか理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文のテーマについて、自分の考えと、自分を取り巻く社会・生活とを関連させながら思考したり表現したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心をもち、本文のテーマに関連した問題について探究しようとする。

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	A　単元名　水の東西 【知】本文に用いられている語彙・漢字の正しい使い方を身に付け、本文に用いられている推論の仕方を理解できるようにする。 【思】目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決めることができ、様々な観点から情報を収集、整理して、思考したり表現したりできるようにする。 【態】教材の内容に関心をもち、水の東西について探究しようとする態度を養う。 B　単元名　ものとことば 【知】本文に用いられている語彙・漢字の正しい使い方を身に付け、本文に用いられている推論の仕方を理解できるようにする。 【思】目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決めることができ、様々な観点から情報を収集、整理して、思考したり表現したりできるようにする。 【態】教材の内容に関心をもち、ものとことばについて探究しようとする態度を養う。	A　・基本的な語句や漢字 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方 ・具体や抽象、二項対立など評論の基本的な読み方 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用　等 B　ものとことば ・基本的な語句や漢字 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方 ・具体や抽象、論理構成の理解など評論の基本的な読み方 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用　等	A　単元名　水の東西 【知】本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思】東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。 【態】情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。 B　単元名　ものとことば 【知】本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思】具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解している。 【態】言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告しようとしている。
2	C　単元名　生と死が創るもの 【知】本文に用いられている語彙・漢字の正しい使い方を身に付け、本文に用いられている推論の仕方を理解できるようにする。 【思】目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決めることができ、様々な観点から情報を収集、整理して、思考したり表現したりできるようにする。 【態】教材の内容に関心をもち、生と死について探究しようとする態度を養う。 D　単元名　不均等な時間 【知】本文に用いられている語彙・漢字の正しい使い方を身に付け、本文に用いられている推論の仕方を理解できるようにする。 【思】目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決めることができ、様々な観点から情報を収集、整理して、思考したり表現したりできるようにする。 【態】教材の内容に関心をもち、時間について探究しようとする態度を養う。	C　生と死が創るもの ・基本的な語句や漢字 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方 ・具体や抽象、論理構成の理解など評論の基本的な読み方 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用　等 D　不均等な時間 ・基本的な語句や漢字 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方 ・具体や抽象、二項対立など評論の基本的な読み方 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用　等	C　単元名　生と死が創るもの 【知】本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思】三つのまとまりの関係性を捉えて内容を把握し、生命科学の観点から提示される「死」について考えを深めている。 【態】既習の評論と粘り強く読み比べ、共通して提起されている問題について対応策を考え、表現の仕方を工夫して文章にまとめようとしている。 D　単元名　不均等な時間 【知】本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思】具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解している。 【態】対比による推論を叙述を基に理解し、既習の評論と粘り強く読み比べ、積極的に持続可能な社会に関する意見を述べようとしている。
3	E　単元名　現代の「世論操作」 【知】本文に用いられている語彙・漢字の正しい使い方を身に付け、本文に用いられている推論の仕方を理解できるようにする。 【思】目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決めることができ、様々な観点から情報を収集、整理して、思考したり表現したりできるようにする。 【態】教材の内容に関心をもち、情報・メディアについて探究しようとする態度を養う。 F　単元名　グローバリズムの「遠近感」 【知】本文に用いられている語彙・漢字の正しい使い方を身に付け、本文に用いられている推論の仕方を理解できるようにする。 【思】目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決めることができ、様々な観点から情報を収集、整理して、思考したり表現したりできるようにする。 【態】教材の内容に関心をもち、グローバリズムについて探究しようとする態度を養う。	E　現代の「世論操作」 ・基本的な語句や漢字 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方 ・論の展開や要旨の捉え方など評論の読解方法・基本的な語句や漢字 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用　等 F　グローバリズムの遠近感 ・基本的な語句や漢字 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方 ・論の展開や要旨の捉え方など評論の読解方法・基本的な語句や漢字 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用　等	E　単元名　現代の「世論操作」 【知】主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思】情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 【態】現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。 G　単元名　グローバリズムの遠近感 【知】主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思】「遠近感」の二重の意味を文脈から把握し、グローバル社会における問題を多様な視点から考えている。 【態】「『遠近感』をめぐる問題」について積極的に考え、学習課題に沿ってまとめようとしている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。